

西尾市教育委員会会議録

招集日時	令和7年12月10日(水) 午前10時00分		
開会場所	岩瀬文庫 研修ホール		
開会時間	午前10時00分	閉会時間	午前10時40分
教育長	稲垣 寿		
出席委員	武内基亘 藤井遼太郎 石崎光子 野田順子		
欠席委員	-		
委員会出席者	教育部長 菅沼律哉、教育部次長兼教育庶務課長 渡辺登志雄、学校教育課長 藤井健一、学校教育課主幹 藤井己代秀、学校教育課主幹 浅岡秀雄、生涯学習課長兼生涯学習センター(仮称) 整備推進室長 澤 雅、文化財課長 林 知左子、図書館長 伊奈八千代、交流共創部長 高須清和、観光文化振興課長 木下奈美、スポーツ振興課長 宮嶋徹夫、教育庶務課課長補佐 平井 修、教育庶務課主査 水野文子		
議題	<p>1 会議録署名委員の指名について</p> <p>2 前回会議録の承認について</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 教育長報告</p> <p>(2) 教育部長報告</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 教育委員会が所管する事務の評価について【教育庶務課】</p> <p>(2) 西尾市岩瀬文庫特別展／国重要無形民俗文化財指定30周年記念「言祝—西尾の三河万歳師—」の開催について【文化財課】</p> <p>(3) 山本眞輔彫刻展の開催について【観光文化振興課】</p> <p>(4) 第4回にしおマラソンの申込み人数について【スポーツ振興課】</p> <p>添付書類 教育委員会名義使用10件</p>		

会議の顛末

教育長	<p>開会の辞 ただいまから西尾市教育委員会12月定例会を開会いたします。</p>
教育長	<p>それでは、議事進行は、あらかじめ配布されております、会議日程に基づいて進めさせていただきます。</p>
	<p>1 会議録署名委員の指名</p>
教育長	<p>会議録の署名委員は、藤井委員、野田委員 を指名します。</p>
	<p>2 前回会議録の承認</p>
教育長	<p>前回定例会の会議録については、すでに委員の皆様方のお手元に送付してございますが、原案のとおり承認してよろしいでしょうか。 承認してもよろしい方は、挙手をお願いします。 (挙手 全員) 挙手全員であります。前回定例会の会議録については、原案どおり承認することにいたします。</p>
	<p>3 報告事項</p>
教育長	<p>(1) 教育長報告 師走となりました。師走の「師」は、本来は法師のはずでしたが、いつ頃からか、かつてはのんびり暮らしていた教師も含まれるようになりました。教師が年中暇なく働くようになってから、控えめに言っても4半世紀は経つと思います。元の意味となった実態が失われたのに、「師走」という言葉だけが残っているのは皮肉です。教育に携わる私たちは、目的と勘違いされた働き方改革に翻弄されて、「師忘」と思われないように、努めていかなくてはなりません。限られた勤務時間の中ですが、子どもたちの楽しみにしている行事や心を揺さぶるような活動には、学校一丸となり、工夫を凝らして取り組むように、校長会で周知していきたいと思います。 本日は2点について報告します。 1点目は、市内小中・義務教育学校の今後についてです。本年度策定予定の「第3期西尾市まち・ひと・しごと創成総合戦略」の中で試算された、本市の将来人口推計が、大きな波紋を呼んでいます。30年後の人口は、何と約12万人、小学校児童に至っては現在の30%ほどになるという驚くべき結果です。この推計を捉えて、議会でも市の進めるさまざまな事業計画について質問が寄せられました。既に「公共施設再配置等検討委員会」も進行しています。とりわけ公共施設中で最も比重の大きい学校施設については、年度末に出される中間答申によって、今後の方向性が示される予定となっています。 教育委員会では、学校施設長寿命化計画を見直すとともに、来年度には「学校規模適正化検討委員会」を創設し、学校配置の検討を開始していきます。大まかな手順としては、まず国の基準を参考に、本市の学校教育の在り方を基に適正規模を設定し、基本方針を定めます。その上で、学校や地域の実情を勘案し、地域の皆さんの理解が得られるように具体策を提案して、ご協力を願いしていく予定です。 2点目は、県立高等学校を取り巻く状況についてです。本年6月3日、県教育委員会では、第1回県立高等学校再編将来構想具体化検討委員会が開催されまし</p>

	<p>た。そこでは、「愛知県の中学校卒業者数は、2025年3月時点で、69,816人だが、2038年には、50,523人となり、19,293人の減少が見込まれる。また、全県的に通信制高校進学者は増加傾向にあり、高等学校無償化による私学志向も勘案すると、今後、県立高等学校への進学率向上は期待できない。このような状況を踏まえると、現状の学校数では、全県的に学校規模が小規模化して、1校当たりの生徒数や教員数が減少し、教育活動に支障を来たす惧れがある。そこで、地域ごとの中学校卒業生徒数の推移や進路動向を総合的に勘案し、統合等による再編を進めていく」ことが確認されました。また、当日の協議を通して、「単に統廃合のみを目指すのではなく、県立高校の魅力化も柱として進めるべき」という共通理解にも至りました。</p> <p>本市の場合、市内5校ともに、それぞれ特色を生かした学校経営がされておりますが、本市の中学校卒業者数を見てみると、本年度の約5,100人から、今後15年間に約600人の減少が見込まれています。また、高校進学による他市からの流入は、西尾高校以外は少なく、立地の不利や募集定員を満たせていない高校もあるため、今後、市内の高校が学級減となったり、あるいは統廃合の対象となる可能性は低くないと思われます。教育委員会としては、この県の動向を注視するとともに、適宜、本市の進路状況や地域事情を伝え、連携を模索していきたいと考えています。</p>
教育長	続きまして（2）教育部長報告をお願いします。
教育部長	<p>（2）教育部長報告</p> <p>私から1点ご報告させていただきます。</p> <p>現在会期中の西尾市議会12月定例会についてです。</p> <p>教育委員会の関係議案といたしましては、単項議案が3件と補正予算があり、条例関係では、西尾市公民館及び西尾市地域交流センターの入館を制限する規定を規則から条例へ変更するための条例改正が2件、西尾市歴史公園の指定管理者について、公募の上、西尾市歴史公園指定管理者選考委員会の審査を受け、公益社団法人西尾市シルバーハウス・一般社団法人西尾市観光協会・特定非営利活動法人やらまいか人まちサポートのグループ団体を指定管理者としたいとするものが1件です。</p> <p>補正予算といたしましては、歳入では、各種基金積立金の利率増による利子收入やふるさと応援寄附金の増加による寄附金の追加計上、歳出では、ふるさと応援寄附金の増加による積立金の追加計上などがございます。</p> <p>単項議案につきましては、12月9日に開催されました文教交流委員会に付託され、議員全員の賛成で「原案どおり可決すべきもの」と決しました。補正予算につきましては、同じく12月9日に開催されました予算決算委員会文教交流分科会で審査され、15日の予算決算委員会において採決が行われます。そして、12月19日の本会議最終日において正式決定されます。</p> <p>次に、一般質問ですが、12月1日を皮切りに3日間で行われ、教育委員会関係分では、学校規模適正化、学校給食の提供方式、子どもの権利・人権教育、学校の樹木管理、中学校部活動の地域展開、小学校プール全体計画などについて10名の議員から11議題42項目について質問がございました。</p> <p>答弁内容につきましては、既に地方紙などで報道されておりますのでこの場ですべてを報告することは省略させていただきますが、一部答弁を抜粋してお伝え</p>

	<p>します。</p> <p>学校規模適正化に関する「ささきえみ議員」への答弁です。</p> <p>教育委員会は統廃合を見据えた個別の方針を策定すべきと考えるがどうか、という質問に対し、「現在、公共施設再配置等検討委員会において、学校の再配置が検討されており、本年度末の中間答申でその方向性が示される予定です。教育委員会としましては、中間答申を受け、児童の教育環境の改善に主眼を置いた、本市における学校規模の適正化に関する方針を策定してまいりたいと考えています。」と申し上げました。</p> <p>次に、中学校部活動の地域展開に関する「中根文彦議員」への答弁です。</p> <p>剣道など既に地域で運営実績がある競技を「西尾版モデル」として位置付ける考えはあるか、との質問に対し、「本市における剣道のように、地域で子供を育てる取り組みは、大変貴重であり、今後もその取り組みに期待を寄せるところであります。その他の競技につきましても、地域が主体となって子どもを育てられるような機運が高まることを願っております。部活動の地域展開「西尾版モデル」の方向性につきましては、部活動ガイドラインと合致したモデルを構築できるよう、今後も研究を続けてまいります。」と申し上げました。</p> <p>最後に、将来人口推計に連動したまちづくりに関する「杉浦こうき議員」への答弁です。</p> <p>小学校プール全体計画について、将来人口推計を踏まえて計画の見直し・変更是行うのか、との質問に対し、「西尾市小学校プール全体計画のうち、速やかな温水プールへの移行などを定めた小学校プール管理運営基本方針については、児童数の減少を理由とした見直し・変更をすることは考えておりませんが、温水プールへの学校の割当てについては、一度、将来人口推計を用いた試算を勘案したうえで、変更が必要かどうか判断したいと考えております。」と申し上げました。</p> <p>私からは以上です。</p>
教育長	<p>日程3を終わります。</p> <p>日程4、その他を議題とします。(1) 教育委員会が所管する事務の評価について、説明をお願いします。</p>
教育部次長	<p>ただいま議題となりました、その他議題(1) 教育委員会が所管する事務の評価について、ご説明申し上げます。</p> <p>1ページ、「その他議題(1) 資料」をご覧ください。</p> <p>はじめに、教育委員会が所管する事務の評価につきましては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条において、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならない」とされており、その規定に基づき実施するものでございます。</p> <p>今年度は、令和6年度に実施した教育委員会が所管する5つの事業について、西尾市行政評価委員会に評価をしていただきました。</p> <p>資料の1ページと2ページが行政評価委員会による「評価所見」で、3ページから7ページまでが評価をしていただいた5つの事業に係る「事業評価表」です。こちら5つの「事業評価表」につきましては8月の総合教育会議でもお示しをしております。</p> <p>それでは、1ページをご覧ください。</p>

「評価所見」の主な内容を、順にご説明申し上げます。

1つ目は、教育庶務課の「学校給食備品整備事業」です。

「所見」です。財政状況が厳しい中、予算が限られているという条件のもと、安心安全な給食を継続的に提供するために、計画的に備品の更新をされていることが分かりました。

引き続き、子どもたちの健やかな成長のため給食備品の整備に努めていただきたい、という評価所見でございました。

2つ目は、学校教育課の「ALT（外国语指導助手）派遣事業」です。

児童・生徒のコミュニケーション能力や国際理解の促進を目的として、市内35校への12名のALTを配置しているとのことで、財政的に増員が難しいことや、価格重視での事業者選定に課題があるなど、これから解決していかないといけない点があることが分かりました。

よりよい教育環境構築のため、さらなる努力をお願いしたい、という評価所見でございました。

3つ目は、生涯学習課の「西尾市官民連携推進業務運営管理事業「ココジョブ」」です。

職場の疑似体験を、体育館のような現場とは異なる場で実現するため、参加事業者が様々な創意工夫を凝らして、子どもたちに興味を持ってもらおうと努力されていることがよく分かりました。

担当者も認識されているとおり、マンネリ化をどう防ぐかなど、知恵を絞らなければならぬ点は多々あるかと思いますが、子どもたちにとって有益な体験となることは間違いないと思います。この事業をどう進化させていくか今後に期待したい、という評価所見でございました。

4つ目は、文化財課の「市史編さん事業」です。

西尾市の歴史、自然、風俗文化を再調査し、それらを記録する事業であり、意義あるものと評価します。

刊行された8冊のなかにはすでに完売している巻もあるとのことで、認知度向上のための企画展や広報誌の無料配布といった関係者の努力が成果につながっていると考えられます。

一方で「新編西尾市史」の価格以上の価値を分かってもらえる方は、まだいらっしゃるようにも思います。データベース化、デジタル化なども進めながら、引き続き西尾市の歴史等の認知度向上に努めていただきたいと考えます。

2ページに続きます。

よりいっそうの市民のシビックプライドの醸成と市のブランドイメージの向上のため、事業の今後に大いに期待したい、という評価所見でございました。

5つ目は、図書館の「図書館蔵書ICタグ貼付事業」です。

ICタグシステムの導入により、貸出・返却のセルフサービス化や蔵書管理の効率化、盗難防止などを図ることができるとのことでした。

効率化により、司書職員のレファレンス対応時間が増え、利用者の満足度向上につながることが重要であると考えます。

今後は職員の増員がさらに難しくなっていくことが予想されます。その課題をICタグシステムの活用により解消する好事例である、という評価所見でございました。

	<p>以上が、行政評価委員会による「評価所見」でございます。</p> <p>教育委員会としましては、この結果を受け、事業内容などについて、今後さらに検討してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、この評価結果につきましては、市のホームページで公表してまいります。</p> <p>以上、その他議題（1）の説明とさせていただきます。</p>
教育長	ただいまの説明で質問、意見はありませんか。
藤井委員	4ページの「ALT（外国语指導助手）派遣事業」で、「共同で教材作成が可能となるなど、大きな支援となった。」とありますが、作成した教材の所管及び管理は委託先の事業者ですか、それとも教育委員会になりますか。
学校教育課浅岡主幹	基本的には委託先の事業者の管理するものになります。
藤井委員	委託先の事業者だとすると、事業者が変更になった場合には、その教材は使用できなくなってしまうということですか。
学校教育課浅岡主幹	使用できなくなります。
藤井委員	委託先事業者の変更を検討されているとのことです、その点も加味して今後検討していただきたいと思います。
教育長	他に質問がないようですので、続きまして、その他議題（2）西尾市岩瀬文庫特別展／国重要無形民俗文化財指定30周年記念「言祝—西尾の三河万歳師—」の開催について、説明をお願いします。
文化財課長	<p>ただいま議題となりました、その他議題（2）西尾市岩瀬文庫特別展／国重要無形民俗文化財指定30周年記念「言祝—西尾の三河万歳師—」の開催について、ご説明申し上げます。</p> <p>資料9ページ、その他議題（2）資料およびちらしをご覧ください。</p> <p>西尾市では、本日から令和8年3月1日までの期間、特別展「言祝—西尾の三河万歳師—」を岩瀬文庫にて開催します。</p> <p>三河万歳は太夫と才蔵による軽快な掛け合いで繁栄や長寿を祝福する伝統芸能です。江戸時代、市内の上町には万歳師が多く住み、毎年正月に江戸や関東各地へ赴き、多くの人に福と笑いを届けていました。しかし、明治時代になると時代の変化とともに、次第に衰退してしまいました。地元では昭和29年に西尾市三河万歳保存会を結成し、民俗文化財として三河万歳の継承が図られてきました。その努力が実り、平成7年、安城市・幸田町に伝承されてきた万歳と一緒に、「三河万歳」は国の重要無形民俗文化財に指定されました。現在では西野町小学校の御殿万歳部の児童たちにより、三河万歳の伝統が今日まで受け継がれています。</p> <p>今年は三河万歳が国重要無形民俗文化財に指定されて30年という節目の年です。本展では、市内の万歳師が残した史料を中心に、その活動の歩みを紹介します。</p> <p>また、会期中には展示解説や古文書講座をはじめ、2月7日（土）10時30分から岩瀬文庫にて、国重要無形民俗文化財の指定を受けた西尾市・安城市・幸田町の3つの保存会による三河万歳をご披露いたします。3保存会が一堂に会すとても貴重な機会です。</p> <p>皆さまのご観覧をお待ちしております</p> <p>なお、このあと教育委員会の終了後、2階企画展示室で担当学芸員が展示のご案内をいたします。本日、開きたてホヤホヤの展示です。お時間が許しましたら</p>

	<p>ぜひ、ご一緒くださいませ。</p> <p>以上、その他議題（2）の説明とさせていただきます。</p>
教育長	ただいまの説明で質問、意見はありませんか。
教育長	三河万歳は太夫と才蔵の2人による掛け合いだと認識していますが、安城市・幸田町も同様に2人で行うものですか。
文化財課長	<p>安城市・幸田町の形式を把握できておりませんが、三河万歳という形式では、太夫と才蔵の2人による掛け合い（ボケとツッコミ）が基本となっています。</p> <p>しかし、尾張万歳など他地域では、多人数で行う場合もあります。安城市は尾張万歳の影響を強く受けていると聞きますので、演目によっては多人数で行う場合もあると思われます。</p>
教育長	他に質問がないようですので、続きまして、その他議題（3）山本眞輔彫刻展の開催について、説明をお願いします。
観光文化振興課長	<p>ただいま議題となりました、その他議題（3）山本眞輔彫刻展の開催について、ご説明申し上げます。</p> <p>現在、開催中の「山本眞輔彫刻展の開催について」、ご案内させていただきます。配布のチラシをご覧ください。</p> <p>今年度のテーマは、「山本眞輔彫刻展 人間讃歌—明日を祈りて—2025」で、会期は、令和7年12月6日（土）から12月14日（日）まで、場所は、幡豆地区にございます文化交流センター南館でございます。</p> <p>本彫刻展は、令和3年度から開催しており、今年度は5回目で、西尾市所蔵に加え、新作や個人蔵の作品を含む、厳選された約30点を展示しております。展示点数は少なめですが、その分一つひとつの作品をじっくりと鑑賞していただきたいという山本氏の思いが込められております。何気ない表情や、ふとした瞬間に宿る美しさを感じただけたらと思います。</p> <p>チラシ裏面をご覧ください。</p> <p>会期最終日の12月14日（日）には、「ギャラリートーク」を開催し、当日は、山本氏ご本人が登壇いたしますので、皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。</p> <p>以上、その他議題（3）の説明とさせていただきます。</p>
教育長	ただいまの説明で質問、意見はありませんか。
教育長	特に質問がないようですので、続きまして、その他議題（4）第4回にしおマラソンの申込み人数について、説明をお願いします。
スポーツ振興課長	<p>ただいま議題となりました、その他議題（4）第4回にしおマラソンの申込み人数について、ご説明申し上げます。</p> <p>その他議題（4）資料をご覧ください。</p> <p>令和8年1月18日に開催いたします「第4回にしおマラソン」の申込み人数は、フルマラソン 6,972 人、5キロ 547 人、2キロ 540 人、合計 8,059 人となっています。</p> <p>西尾市内からの参加者は、フルマラソン 720 人、5km 188 人、2km 345 人の 1,253 人となっております。</p> <p>フルマラソンのお土産付きエントリーは、参加料が 20,000 円に設定し、西尾の特産品と出走権がセットになっているものです。ふるさと納税エントリーは、ふ</p>

	<p>るさと納税の仕組みを利用して、返礼品として出走権を贈るものです。</p> <p>5キロにつきましては、一般533人、高校生14人、2キロにつきましては、中学生34人、小学生177人、ジョギング312人、車いす17人となっております。</p> <p>全国46都道府県、海外4か国から申込みがございました。</p> <p>また、ボランティア参加につきましては、小学生とその保護者198組507人、中学生526人の申込みがございました。</p> <p>以上、その他議題（4）の説明とさせていただきます。</p> <p>続きまして、議題外にはなりますが、本日配付しましたパンフレットをご覧ください。「NISHI SPO」のイベント紹介をさせていただきます。</p> <p>第20回アジア競技大会が令和8年9月から10月に開催されますが、西尾市ではボクシング競技が開催される予定です。このアジア競技大会の推進イベントとして「NISHI SPO」を12月20日（土）、21日（日）に開催いたします。</p> <p>ボクシングの元世界王者などのスペシャルゲストによるトークショー、スポーツ体験コーナー、西尾の抹茶石臼挽き体験などの他、アジア料理のキッチンカーの出店もございます。</p> <p>なお、「NISHI SPO」はメインアリーナ以外で行いますが、メインアリーナにおいては、日中は「全国日本社会人ボクシング選手権大会」の準決勝・決勝が行われます。また、夕方には「国際親善試合ボクシングフレンドリーマッチ in 西尾」が行われます。これは、組織員会がテストイベントとして、タイ・フィリピンから選手を招いて、日本選手と親善試合を行うものです。</p> <p>3つのイベントが同日に開催されますので、ぜひ会場まで足を運んでいただけたらと思います。</p>
教育長	ただいまの説明で質問、意見はありませんか。
野田委員	申込数が定員を大きく上回っていますが、問題はないですか。定員はあくまで目安の人数ですか。
スポーツ振興課長	<p>定員は6,000人と定めていますが、実際には当日キャンセルが1割程度見込まれるため、約6,600人程度まで受付できると考えており、ふるさと納税やお土産付きエントリーの方を加えて、約7,000人弱の受付人数となっています。</p> <p>また、できるだけ歳入を増やしたいという考え方から、6,600人を目指してエントリー受付を行っています。</p>
野田委員	「NISHI SPO」のチラシの中に、説明のあった同日の開催イベント「ボクシングフレンドリーマッチ」などの記載がないのはなぜですか。せっかく集客のため同日開催しているなら、記載があった方がよいと思いました。
スポーツ振興課長	<p>他の2つのイベントは、主催者が日本ボクシング連盟になります。ボクシング連盟のポスターには、「NISHI SPO」について掲載をしていただいております。</p> <p>しかし、社会人選手権の方の参加人数がなかなか決まらず日程が決まらなかつたことなどから、記載することができませんでした。</p>
野田委員	もったいないと思いますので、SNSなどを活用して、ぜひ周知に努めたいと思います。
教育長	他に質問もないようですので、日程4を終わります。教育委員会名義使用として、10件が提出されています。ご確認をお願いします。
教育長	この他、何か連絡事項はありますか。

教育長	以上で本日の日程は、すべて終了いたしました。
教育長	次回は令和8年1月14日水曜日 午前10時00分から、西尾市役所41会議室で予定されています。ご予定いただきたいと思います。
教育長	これをもちまして西尾市教育委員会12月定例会を閉会いたします。 ありがとうございました。